



県民の皆様には、日頃より保健福祉行政にご理解とご協力を賜りお礼申し上げます。

このたび、県では、高齢者の方と、これから高齢期に入る40～64歳の方を対象に、生活意識や介護のことなどに関する調査を実施することになりました。以下に示す調査目的をご理解いただき、ご協力をお願いします。

◇調査の もくてき 目的	高齢者施策に関する基本方針となる「わかやま長寿プラン2027（仮称）」を策定する際の基礎資料を得るための調査です。
◇調査の たいしょうしゃ 対象者	合計 5,500人（各市町村にお住まいの方から無作為に抽出） ●65歳以上の方 3,900人 ※介護保険の要支援・要介護認定を受けていない方2,300人と受けている方1,600人 ●40～64歳の方 1,600人
◇調査票 はっそう の発送	市町村から提供された名簿に基づいて行っています。お答えいただいた内容は、統計の目的のみに利用し、個人の情報が他に漏れることはございません。

インターネットでも回答できます



左の二次元コードをスマートフォンなどで読み取るか、パソコン等で下記URLを入力して、回答ページにアクセスしてください。

URL： <https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/longevity1/aged1/>

回答ID： 回答パスワード：

※回答IDは重複回答を避けるためのもので、個人を特定するためのものではありません。

抽選で90名様に県特産品をプレゼント!!



抽選で90名様に県産果物で作ったジャムとハチミツのセット（3,000円相当）をプレゼントいたします。プレゼントを希望される方は、調査票の最終ページにある応募欄にご連絡先をご記入ください。

この調査についてのお問い合わせ先 ～わからないことがあればご連絡ください～

高齢者等生活意識調査事務局【フリーダイヤル】0120-073-230

（調査事務局：和歌山県委託先「一般財団法人 和歌山社会経済研究所」）

※受付時間：午前9時～午後5時（土・日・祝日を除く）

※質問項目等の問い合わせに限らず、心身の状況により回答が困難な場合にも、お気軽にご連絡ください。

調査実施主体 和歌山県 福祉保健部 福祉保健政策局 長寿社会課

電話 073-441-2440 / FAX 073-441-2523

ちょうさひょう で ようご ほそくせつめい
■ 調査票に出てくる用語の補足説明

かいご 介護のサービス	
ホームヘルプ	ホームヘルパーに訪問してもらい、介助や調理・洗濯などの援助を受けるサービスです。
デイサービス	日帰りでデイサービスセンターへ通い、食事や入浴などの介護や機能訓練を受けるサービスです。
デイケア	日帰りで老人保健施設や病院・診療所に通い、リハビリテーションを受けるサービスです。
ショートステイ	介護する家族が病気や冠婚葬祭などで一時的に介護できないとき、短期間入所できるサービスです。
しせつ じゅうたく 施設・住宅	
とくべつようごろうじん 特別養護老人ホーム	常に介護が必要で在宅生活が困難な方が、入浴、排せつ、食事などの介護や日常生活上の世話、機能訓練、健康管理などのサービスを受けながら生活する施設です。 新規の入所は原則として要介護3～5の方が対象です。
ろうじんほけんしせつ 老人保健施設	病状が安定している方が在宅復帰できるように、リハビリテーションを中心として、看護、医学的管理の下での介護、機能訓練、必要な医療及び日常生活上の世話が行われる施設です。
かいごいりょういん 介護医療院	長期の療養を必要とする方に、「日常的な医学管理」と「看取りやターミナルケア」等の医療機能と、生活施設としての機能を兼ね備えた施設です。
ゆうりょうろうじん 有料老人ホーム	介護、食事、家事、健康管理のいずれかのサービスを受けることができる施設です。 利用できるサービス、契約形態、費用などは施設によって異なります。
サービス付き高齢者 向け住宅	安否確認と生活相談を必須サービスとし、バリアフリー構造や一定の面積と設備などの要件を満たした住宅です。 必須サービス以外に介護、食事、家事、健康管理などの生活支援サービスを提供する住宅もあります。利用できるサービス、契約形態、費用などは住宅によって異なります。
ケアハウス	身体機能の低下などにより独立して日常生活を営むことに不安があり、家族による援助を受けることが困難な方を対象とした施設です。 食事の提供や相談及び援助などの日常生活上必要なサービスを受けることができます。